

## 令和3年度 第6回部長会（概要報告）

- ・ 日 時 令和3年8月31日（火）午前9時00分～
  - ・ 場 所 八尾市役所大会議室
  - ・ 出席者 市長・副市長・教育長・病院事業管理者・水道事業管理者・各部局長・理事等
- .....

### 【市長あいさつ】

皆さん、おはようございます。お忙しい中、令和3年度第6回部長会にお集まりいただき、大変ご苦労様です。

8月14日から15日にかけて、前線による大雨に伴い、市内に4カ所避難所を開設し、1号配備を発令いたしました。休日にも関わらず多くの職員に対応いただきありがとうございました。幸い、本市に大きな被害はありませんでしたが、間もなく秋の台風シーズンに入ります。今後とも市民の命を守るため、全庁を挙げて対応に当たってまいりますので、よろしく願い致します。

次に、新型コロナウイルス感染症を巡っては、4度目の緊急事態宣言が9月12日まで延長されました。20代、30代の若年層を中心に急激に感染が拡大し、保健所によると、本日、過去最多となる100人を超える陽性者が見込まれるなど、まさしく第4波を大きく上回る感染爆発の状況にあります。市立病院においては、コロナ病床の使用率が73%を超えるなど、引き続き、予断を許さない状況が続いており、本市としても一層の対策の強化が必要です。

一方、新型コロナウイルス感染症対策とともに、現在の市政の最重要課題であるワクチン接種については、9月6日には12歳以上を対象とする予約を開始いたします。職員の皆さんには、国からのワクチン供給が不安定な中、重症化のリスクが高い妊婦への接種など、新たな課題にも迅速に対応していただきまして、心強く感じています。引き続き、市民の命を守るために、市民の目線に立ちながら、対応に当たるようお願いしておきます。

さて、7月から8月にかけて、92人の各課の行政改革推進員の皆さんとの懇談会を実施させていただきました。それぞれの職員の意見を聞いたことで、様々な課題を発見することが出来ました。ひとり一人の個性ある職員の意気込みに感動するとともに、こうした職員の能力を生かし、高めていくことが、何よりも大切だと感じた次第です。

これまで、折に触れ、風通しの良い組織づくりについてお願いしてまいりましたが、改めて組織内において、日ごろからのコミュニケーションが大切だと考えさせられました。意思の疎通がない場合、組織全体に大きな影響を及ぼすことがあります。当然、各々の認識にずれや食い違いがある状態で業務を進めていくと、市民の皆さんに迷惑をかけることはもちろんのこと、法令に反する事態を引き起こしかねません。特にコロナ禍においては、イレギュラーな対応や、即座に判断が求められる場合もあります。

しかし、基本となるのは、組織の共通認識であり、組織としての意思決定であります。当然ながら、自らの権限を超えるものや、通常とは異なるイレギュラーな対応が必要なものについては、上司への情報共有や確認が不可欠になると考えます。両副市長と私の三人の間においても、私の思いや指示が十分に伝わらないこともありました。私や副市長はもちろんでありますが、部局長をはじめ管理職の皆さんには、組織内での課題や事業の進行管理などについて、しっかりと共有するために、日頃からコミュニケーションを深めていただきたいと思います。

さらにこの際、部下職員の育成についても触れておきたいと思っております。コロナ禍が長引く中、限られた人員で、それぞれが協力しながら、オール市役所で対応することが求められています。

そんな中、職員が心身の疲れから、それぞれの能力を発揮できなくなることは、組織的にも大きなマイナスとなります。こうした状況を見逃してしまうこと自体が、組織として、大きな問題であると思います。自分で適切であると考える指導であっても、場合によってはハラスメントに当たります。

良好なコミュニケーションのもと、部下職員のことを思いやりながら育成していく。その前提として、部下職員が相談しやすい職場づくりを、改めて管理職の皆さんにお願いしておきます。

結びに、残暑厳しい日々が続きますが、部局長の皆さんにおかれましても、体調に十分留意され、引き続き、ご協力いただきますようお願い申し上げます、開会のあいさつといたします。

## 案件

### 1 災害対策本部班長会議の開催について

危機管理監

まず、8月13～15日の豪雨による1号配備と避難所開設について、この場をお借りして、お礼申し上げます。

既に8月30日にEメールにてご連絡しておりますが、本年度の地域防災計画の改訂につき、第6次総合計画に即した組織機構への修正及び過去の防災訓練等における意見等を踏まえた更なる防災力強化を目的として、本部参謀や統括班、情報収集班の強化を中心とした災害対策本部組織の班体制の見直しを行っております。

つきましては、各班の班長による、災害対策本部班長会議を10月1日に開催し、協議します。後日、防災会議に諮ることとしておりますので、よろしく願いいたします。

特に意見なし

### 2 包括外部監査の結果に基づき講じた措置について

政策企画部長

包括外部監査の結果等につきましては、各所管において改善に取り組んでいただいているところです。このたび、包括外部監査の結果に基づき、本年7月20日までに講じた改善措置等の内容につきまして、監査委員に通知を行いましたので、ご報告申し上げます。

包括外部監査における改善措置等の状況といたしまして、これまでに取り組み済みとなった件数や、今回取り組み済みとなった件数等の状況につき、年度別にまとめております。本年新たに「取り組み済み」となりました件数につきましては、結果が13件、意見が51件の合計64件ございます。なお、改善措置等の内容につきましては、資料のとおりとなります。

この通知の内容につきましては、監査委員より本市ホームページ及び情報公開コーナーで公開されるとともに、市政だより11月号に要約文が掲載される予定となっております。

また、各部局におかれましては、結果に対する措置だけでなく意見に対する対応につきましても、前向きな検討・改善に尽力をいただいているところではございますが、迅速な対応と市民に対する説明責任が十分果たせるよう、今後引き続き積極的に検討を進め、新たな取り組みや動向等についてご報告をいただきますようお願いいたします。

特に意見なし

### 3 令和4年度組織機構の見直しについて

政策企画部長

現行の組織機構につきましては、第6次総合計画の推進体制を整備するため、昨年度に大規模な見直しを行ったところです。

令和4年度における組織機構の見直しにつきましては、現行の組織体制の安定化と定着を図る

こととしながらも、目まぐるしく変化する社会経済情勢や国・府等の施策の動向その他の要因により、政策課題が顕在化したものであって、早急に課題解決を図る必要があるものや、さらなる機能的・効率的な組織体制の構築に資するもの等に限定的に実施していきたいと考えております。

つきましては、部長会終了後、別途、ご照会させていただき、該当のある部局について、ヒアリングさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

また、行財政改革推進本部から検討の指示が出る場合もございますので、その際はご通知させていただきますので、よろしくお願いいたします。

**【いじめから子どもを守る課次長】**組織機構改革の照会は、毎年7月ぐらいであったと思いますが、この時期になった理由はあるのでしょうか。

**【政策企画部長】**昨年度は大規模な組織機構改革となりましたが、令和4年度の組織機構改革は、PTのあり方検討やデジタル庁への対応など、早急な課題解決に向けた限定的な組織機構改革となります。そのため、この時期に検討を始めていただきたいということになります。

#### 4 文化会館改修に向けたガバメントクラウドファンディングの実施について

**魅力創造部長**

文化会館は平成30年に開館30周年を迎え、これまで八尾市の芸術文化振興の拠点施設として、毎年約40万人の方に利用され、鑑賞や発表、練習の場として様々な方に夢と感動をお届けしてきました。しかし、施設の安全対策や機能改善のため、改修が必要となり、令和3年度より施設の大規模改修を行っています。

この改修にあたりまして、昨年度に引き続きガバメントクラウドファンディングを実施します。前回はおかげさまで目標額を上回るご寄附をいただきましたが、今回については、企業版ふるさと納税の制度も活用しての実施となります。そのため、市外企業が、寄附を行っていただいた場合は、税制上の優遇措置を受けることができ、損金算入と税額控除により、最大で寄附額の約9割の税が軽減され、実質的な企業負担が約1割となります。支援して頂いた個人の方や企業には、大ホールの座席背面のネームプレートや館内寄附者銘板等様々なお礼の品を用意しております。

今回も八尾市民をはじめとする多くの方の支援をお願いしますと考えております。つきましては、八尾市内外の居住者に関わりなく多くの職員にも参加して頂きますように、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

特に意見なし

その他、消防長から出初式の実施の可否について9月末までに決定する予定であること、総務部長から、コロナ禍の中9月定例会本会議に出席する部局長を調整していく方針であることの報告、政策企画部長から市長と行革推進員の意見交換会への協力についてのお礼と意見の取り扱いについて報告があった。

また、新型コロナウイルス感染症の状況報告として、保健所長から保健所業務の現状とさらなる職員応援の依頼のほか、中山教育長、市立病院事務局長、こども若者部長から各部局の現状と対策状況の報告があった。また、三谷選挙管理委員会事務局長から、選挙への影響等の報告があった。

最後に大松市長から以下の発言があった。

行革推進員との意見交換会では、若手職員から前向きな意見が多く出された。部局長、所属長の皆さんには、風通しのよい組織を目指して、しっかりと職員の意見を受け止めていただくようお願いいたします。

また、保健所については、業務多忙の極みとなっております。各部局も大変な状況であることは十分理解しておりますが、ここが踏ん張りどころですので、全部局一丸となって取り組んでいただきますようお願いいたします。市民の不安が高まってきておりますので、市民の安全・安心のため、コロナ関連の情報については、しっかりと発信していただきますようお願いいたします。